

茅葺きの

宿としての魅力の発見と 営みの持続 協働の仕組みを考える

第13回
茅葺き
フォーラム
南越前町大会

主催 一般社団法人日本茅葺き文化協会
共催 福井県教育委員会
南越前町・南越前町教育委員会



Japan Thatching Cultural Association
一般社団法人 日本茅葺き文化協会

2026.5.30(土)5.31(日)

会場

総会・フォーラム： 昭和会館3階ホール
福井県南条郡南越前町今庄75-6
情報交換会： 今庄住民センター大ホール
福井県南条郡南越前町今庄84-25
宿泊先： 今庄の宿かねおり ほか
福井県南条郡南越前町今庄85-2-18

お問い合わせ・申込み

一般社団法人日本茅葺き文化協会
<https://www.kayabun.or.jp>
〒300-4231 茨城県つくば市北条184
Phone/Fax 029-867-5829
E-mail info@kayabun.or.jp
申し込みフォーム
<https://forms.gle/qzNLpqGiHQN4EhAv9>



越前板取宿は、近江から越前に抜ける北国街道の峠を越えた入り口にあたる宿場で、
福井藩の番所が置かれ、交通の要衝として栄えた。

明治の頃には56戸を数える大きな宿場町であったが、明治半ばの北陸本線開通や昭和半ばの北陸トンネルの開通によって、宿場としての役割を終え、
昭和50年頃には10戸余りに減少し、現在は4戸を残すのみである。

街道に面して妻入り甲造りの茅葺き民家が、斜面にひな壇状に並ぶ豪壮な茅葺き景観が残され、往時の板取宿の姿を偲ぶことができる。

全て空き家となった茅葺き民家を南越前町が管理し、現在は、2家族がそこで暮らしを営んでいる。

空き家状態となっている残り2軒と、10kmほど北にある重要伝統的建造物群保存地区の今庄宿とあわせた保存活用が今後の課題となっている。

このような旧街道沿いの宿場町の茅葺き民家は、日本各地に残されていたが、いずれも交通網の整備に伴って存亡の危機にさらされてきた。

そこで、今回のフォーラムでは、東北の伝統的建造物群保存地区大内宿での茅葺きの技術継承とあわせた保存活用の取り組みと、

同じく伝建地区の肥前鹿島宿の酒蔵元が茅葺き民家を再生して酒蔵オーベルジュとしている取り組み、

伝建地区の徳島県三好市東祖谷山村落合の集落全体を大きな宿泊施設としている取り組み、

茨城県筑波山麓の石岡市八郷地区の茅葺き技術の継承や茅の確保、茅場の維持管理の共同の取り組みについて報告を受け、

板取の茅葺きの宿としての魅力を発見し、営みを持続するための協働の仕組みについて考えたい。

5.30(土) 総会・茅葺きフォーラム

会場・受付開始 10:30

日本茅葺き文化協会総会 11:00 - 12:00

昼食(自由)

第13回 茅葺きフォーラム 13:00 - 18:00

開場・受付開始 12:00 -

開会あいさつ 13:00 -

日本茅葺き文化協会代表理事 安藤邦廣
南越前町長 仲倉典克 / 福井県教育長 藤丸伸和

茅葺きの宿としての魅力の
発見と営みの持続を考える

総司会 上野美帆
(日本茅葺き文化協会・
都市農山漁村交流活性化機構)

福井県の茅葺きと板取宿の歴史文化 福井宇洋 (元 福井大学助教)

板取宿の茅葺きで暮らす 南康夫 (南越前町板取宿)

大内宿 田沼一俊
茅葺きの技能継承とあわせた茅葺き宿の保存と活用 (大内宿茅葺き技術伝承会 副会長)

肥前鹿島宿 飯盛直喜
茅葺き民家を再生した酒蔵オーベルジュ (富久千代酒造 代表取締役)

筑波山麓 新田穂高
茅葺き職人の育成と茅確保の共同の取り組み (やさと茅葺き屋根保存会 副会長)

東祖谷山村落合 宮田健一 (徳島県三好市 教育委員会)
茅葺き集落全体を大きな宿泊施設として活用

パネルディスカッション

コーディネーター: 米山淳一
(日本茅葺き文化協会・横浜歴史資産調査会)

茅葺き最新情報

万博の茅葺きパビリオン 茅の調達・再利用

辻慎太郎 (大成建設株式会社)
沖元太一 (株式会社Earth Building)

ヨーロッパの茅葺き最新情報

上野弥智代
(日本茅葺き文化協会 事務局長)

ほか

情報交換会 19:00 - 21:00


参加費

福井県民は無料 (*資料ほか以下は有料です)

資料費	一般 [2,000] 円	宿泊費(税込・1泊朝食付) [10,000] 円
	会員・学生 [1,000] 円	参加者同士2~6名の相部屋になります
情報交換会費	[5000] 円	見学会費(昼食代含む) [4,000] 円

申し込み

フォームまたはメールまたはFAXにてお申し込みください 申込締切【2026年5月11日(月)】 FAX:029-867-5829

 ←申し込みフォーム ※表面と同様のQRコードです https://forms.gle/qzNLpqGiHQN4EhAv9	ふりがな: ※生年月日は保険加入のために必要な情報です 氏名: _____ 生年月日: 西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日 ()歳 性別: 男・女
	参加プログラム 参加する全てに○をつけて下さい→ 総会(会員のみ)・フォーラム・情報交換会・宿泊・見学Aコース・見学Bコース
所属: _____	会員種別: 茅文協会員(団体/個人) ・ 一般 ・ 学生 ・ 福井県民 該当する会員種別に○をつけて下さい。
住所: 〒 _____	
電話番号(当日連絡のつく番号): _____	メールアドレス: _____ *メールをご利用でない方はFAX番号をご記入ください

交通案内

公共交通機関をご利用の方: 総会、フォーラム会場へは、今庄駅から徒歩3分

総会から出席	東京6:16発 かがやき501号 → 敦賀9:50発 ハピラインふくい(福井行) → 今庄 10:05着
	東京6:21発 ひかり631号 → 米原9:30発 JR北陸本線(敦賀行) → 敦賀 10:20発 ハピラインふくい(福井行) → 今庄10:35着
	東京7:00発のぞみ117号 → 名古屋 8:41発 こだま867号に乗換 → 米原9:30発JR北陸本線(敦賀行) → 敦賀 10:20ハピラインふくい(福井行) → 今庄10:35着

5.31(日) 見学会

見学Aコース:午前 8:30 - 12:30

今庄の宿かねおり出発

板取宿および今庄宿重要伝統的建造物群保存地区の見学

移動、昼食(今庄住民センター)

見学Bコース:全日(Aコース+午後) 12:30 - 15:10

昼食会場出発

移動 (バス+自家用車)

重要文化財坪川家住宅、重要文化財旧木下家住宅の見学

解散、福井駅へ



今庄宿



坪川家住宅